

対象器種	FRC-1812T SET
適合調光センサ	DF-20206XD7, DF-20206ZD7, DF-20207XD7, DF-20207ZD7 TMTS03A, TMTS04A

このたびはリモコン送信器をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。  
正しくお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。









### 工事店様へ

・工事が終了しましたらこの取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

### お客様へ

・お読みになったあとも必ず保管してください。

## ■安全上のご注意

 <b>注意</b>		この取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品に安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
●リモコン送信器を改造したり、部品を変更したりしないでください。 感電、火傷等の原因となります。  改造	●このリモコン送信器は非防水です。 屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。  湿気	
●暖房器具、ガス器具等の真上・付近など、温度の高い場所では使用しないでください。 (このリモコンは、5~35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。)  5℃~35℃の温度範囲で!  温度	●リモコン送信器に表示された電圧(単四形乾電池：2本)以外で ご使用しないでください。  電源電圧	
	●リモコン送信器は落としたり、水をかけたり、踏みつけたり、投げたりしないでください。 	
●長期にわたりリモコン送信器を使用しない場合には乾電池をはずしておいてください。 液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。 また、液もれによる火傷の原因となります。 		

## ■使用上のご注意

・リモコン操作は右図のリモコン操作範囲内にておこない送信器を調光センサに向けて操作してください。

・リモコン操作は送信器を調光センサに向けて操作してください。

**注意** 確認操作においてボタン操作後、調光センサからの返信信号を受けるまでは調光センサに向けてください。

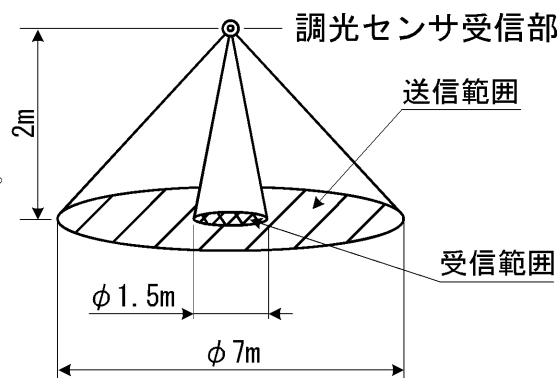
・ランプ近傍で操作した場合、受信しにくい場合があります。

・リモコン送信器と調光センサの間に遮蔽物がある場合は動作しません。

・乾電池が消耗してくると動作しにくくなりますのでその際は新しい乾電池と交換してください。

・リモコン送信器および調光センサの送受信部は汚れますと動作しにくくなりますので、乾いた布で拭いてください。

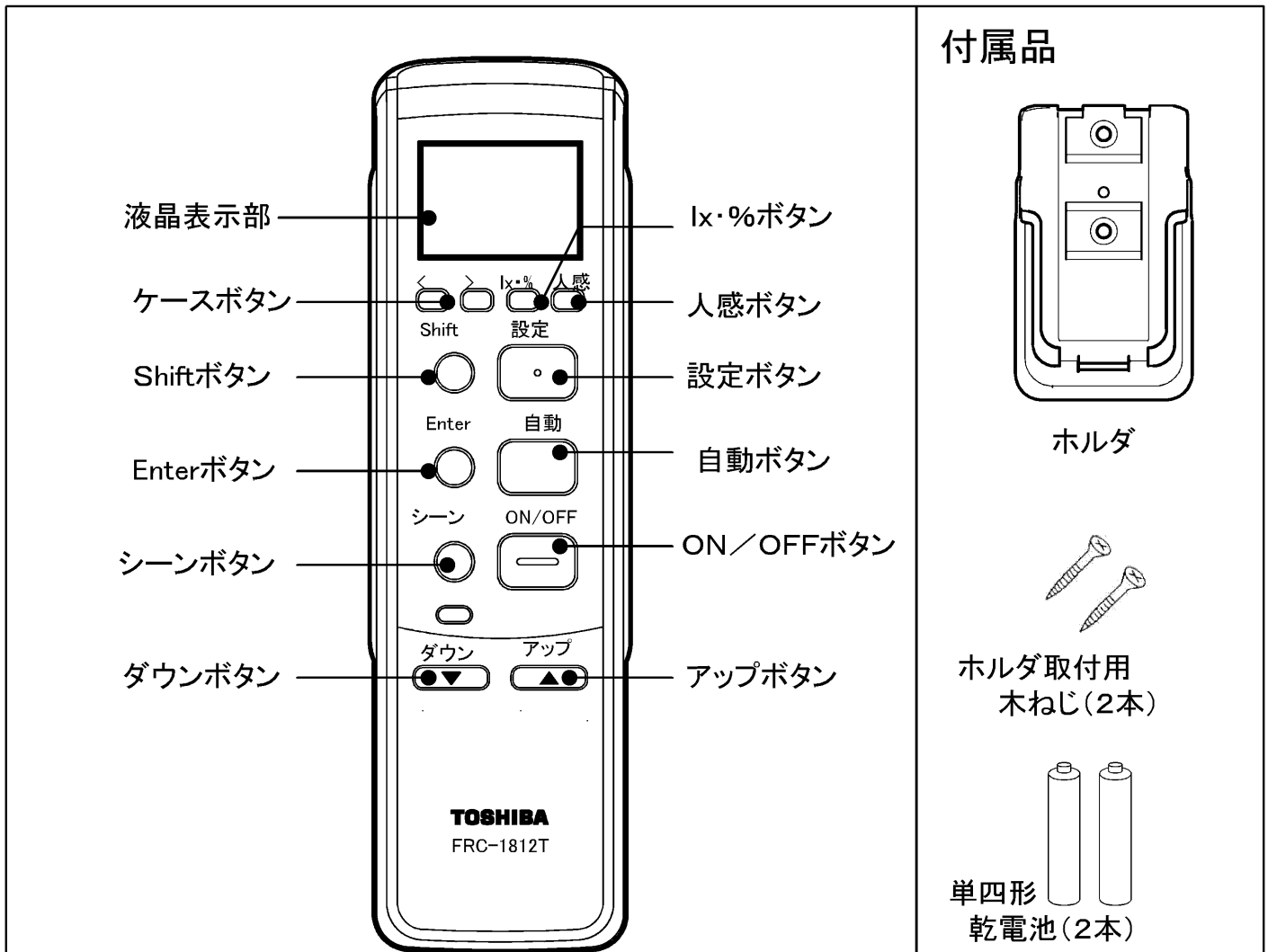
・このリモコンで、「シーン」や「ダウン」ボタン操作で点灯中に、センサ電源がOFF→ONとなった場合は、「自動」運転に戻ります。



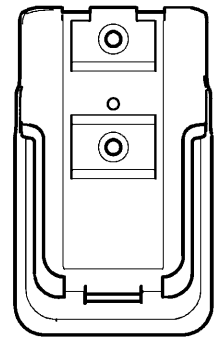
# もくじ

■安全上のご注意	1
■使用上のご注意	1
■各部のなまえ	3
付属品	3
乾電池の入れかた	3
ホルダの取り付けかた	3
■設定のしかた	4
設定のまえに	4
設定の手順	4
■あかるさ設定	5
自動設定	5
保守率による設定	6
照度による設定	7
調光度による設定	8
■調光範囲の設定	9
調光上限の設定	9
調光下限の設定	10
■人感センサの設定	11
点灯保持時間の設定	11
不在時のあかるさの設定	12
■拡張設定	13
照度校正	13
あかるさ補正	13
フェード時間の設定	14
調光器連動の設定	15
センサアドレスの設定	16
調光信号種類の設定	17
手動保持時間の設定	18
人感センサ消灯遅延の設定	19
照明器具の設定	20
初期値に戻す方法	20
■手動操作のしかた	
自動運転	20
現在の調光度確認	20
消灯	20
調光運転	21
シーン	22
ケース運転	22
■設定早見表	23
■保証	24

## ■各部のなまえ



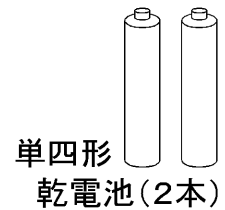
## 付属品



ホルダ



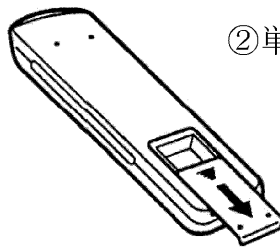
ホルダ取付用  
木ねじ(2本)



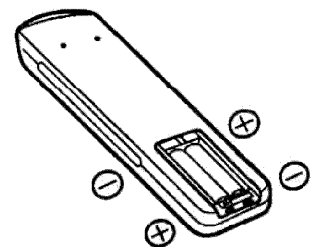
単四形  
乾電池(2本)

## ■乾電池の入れかた

①裏面のカバーを軽くおさえながら手前に引いてください。



②単4形乾電池を表示に合わせて極性を間違えないように入れて、カバーを閉めてください。



### 注意

- 乾電池交換の際は必ず2本とも交換してください。
- 長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池を外しておいてください。

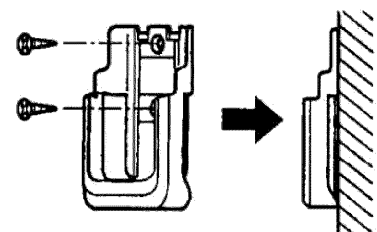
- 乾電池の寿命は1日10回の操作で1年が目安です。

## ■ホルダの取り付けかた

木ねじで固定します。

### 注意

ホルダに、リモコン送信器を入れたまま調光センサを動作させることはできません。ホルダからリモコン送信器を取り出して操作してください。

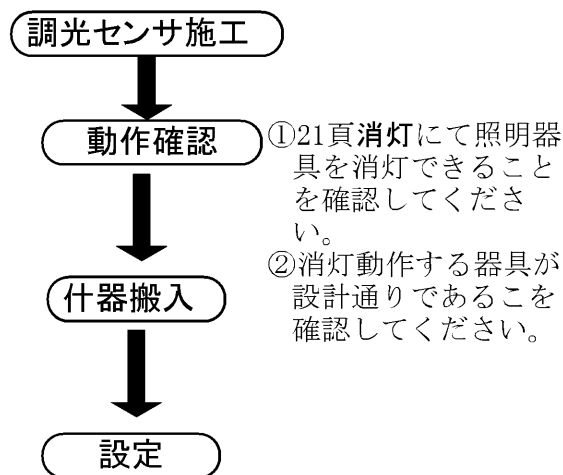


## ■設定のまえに

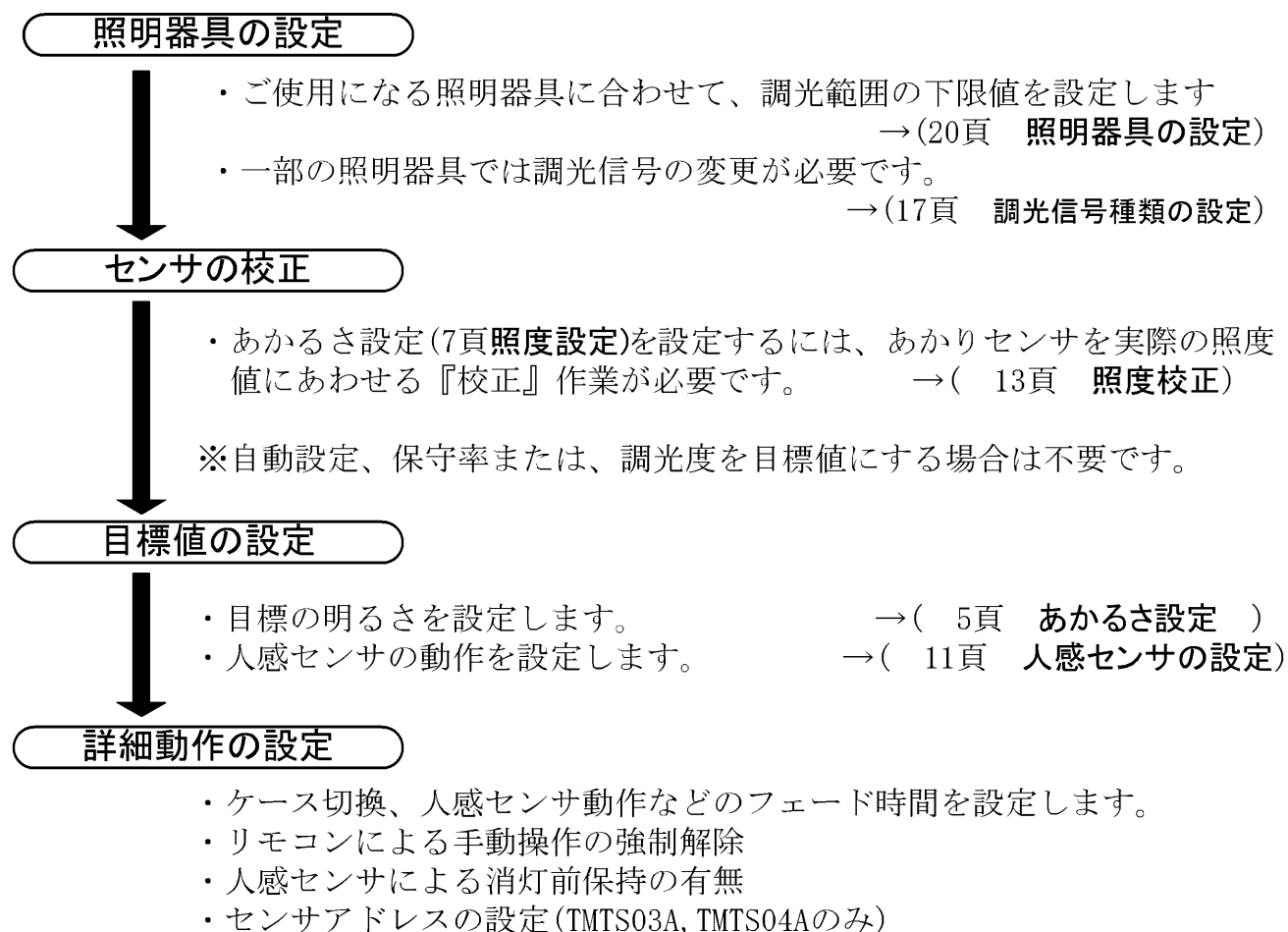
- ・あかるさ設定およびあかりセンサ校正する環境は、什器などを設置した実際の使用環境にておこなってください。

**注意** 什器などの搬入前に仮設定する場合は、実際の環境にて再度設定が必要となります。

- ・夜間もしくは外光の影響が無い環境にておこなってください。



## ■設定の手順



※ 本説明の中で操作手順に応じてリモコン送信器の表示が変化する部分を  で示しています。

## ■あかるさ設定

・調光センサは4種類の目標値を記憶しておくことができ、これらをケースと呼びます。

**注意** DF-20207XD7, DF-20207ZD7は、ケース2は調光センサの外部接点端子を短絡することで再現できます。

・ケース3、ケース4はシーンとして使用します。再現は21頁**ケース運転**を参照ください。

**注意** 20頁**照明器具の設定**が正しく設定されていないと、設定が正常におこなわれません。

・調光センサは次の4つの方法で目標値の設定ができます。

### ・自動設定

調光センサに給電した際、自動的に保守率70%の目標値になるように設定します。

### ・保守率設定

指定した調光度で点灯したあかるさを目標値に設定し、あかるさを一定に制御します。

### ・照度設定

あかるさの目標値を照度の数値入力により設定し、あかるさを一定に制御します。

### ・調光度設定

照明器具の調光度を一定に制御します。あかりセンサによる制御はおこなわれません。

**注意** 各ケース間の目標値において、照度と保守率の混在はできません。

・出荷時の設定は下表に設定されております。(TMTS03A, TMTS04Aを除く)

ケース1	自動設定による保守率 70%	人感センサ入り
ケース2	調光度 25%	人感センサ入り
ケース3	調光度 50%	人感センサ切り
ケース4	調光度 100%	人感センサ切り

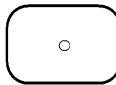
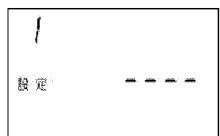

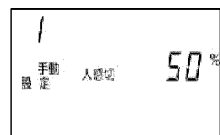

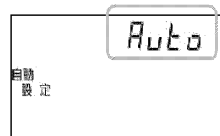

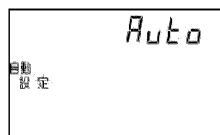
## ●自動設定 (TMTS03A, TMTS04Aは設定できません)

・調光センサの電源供給時に自動的に保守率70%の目標値になるように設定します。

※ 自動設定の詳細につきましては調光センサの取扱説明書をご覧ください。

**注意** 自動設定はケース1のみの設定となります。先に他のケースを選択した場合でもケース1が設定されます。

**注意** 自動設定では「人感」ボタンによる人感センサの無効設定はできません。

手順1	<b>[設定]を押す。</b>	設定 	
手順2	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッ”というブザー音が鳴り、現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合( _ _ _ )が点滅)は、再度手順2の操作をする。	Enter 	 ※現在の設定値が表示されます
手順3	<b>[1x・%]を数回押して、自動設定画面を表示させる。</b> 《Auto》と表示します。	1x・% 	
手順4	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、設定完了です。	Enter 	

**注意** 設定した保守率(70%)と運用中の実際の調光度は周囲の環境によりずれが発生する場合があります。

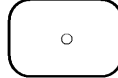
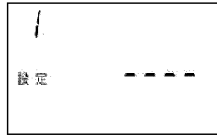

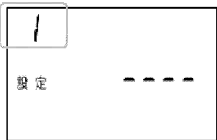

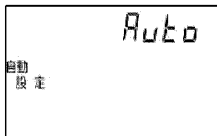

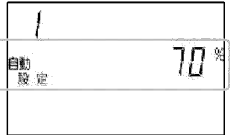
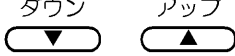




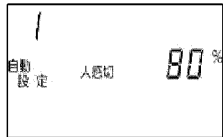
## ●保守率による設定

- ・照明器具を指定した調光度で点灯したときのあかるさを記憶し、あかるさを一定に制御します。
- ・ランプ（照明器具）の初期照度補正に設定したい場合などに使用します。

**注意** 保守率設定をする際は、必ず新しいランプにて設定してください。

**注意** 設定する他のケースに照度設定がされている場合は設定できません。

**注意** 40%～100%の範囲で変化しますが、実際のあかるさは20頁**照明器具の設定**によります。正しく設定されていないと、設定が正常におこなわれません。

手順 1	<b>[設定]を押す。</b>	設定 	
手順 2	<b>[&lt;][&gt;]で設定するケース番号を選択する。</b>	< > 	
手順 3	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッ”というブザー音が鳴り、現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合（ _ _ _ が点滅）は、再度手順3の操作をする。	Enter 	 ※現在の設定値が表示されます
手順 4	<b>[1x・%]を数回押して、保守率設定画面を表示させる。</b> 《自動》《設定》《%》表示を確認してください。	1x・% 	
手順 5	<b>[アップ][ダウン]を押して設定したい保守率にあわせる。</b> ※1%刻みで増減します。	ダウン アップ 	
手順 6	<b>[人感]で人感センサの有効または無効を選択する。</b> ※「人感切」表示は人感センサ動作を無効に設定します。人が不在になっても減光しません。 ※人感入は表示されません	人感 	
手順 7	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッ”というブザー音の5秒後に“ピッピッ”と聞こえたら、設定完了です。	Enter 	

**注意** 設定した保守率と運用中の実際の調光度は周囲の環境によりずれが発生する場合があります。


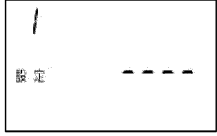

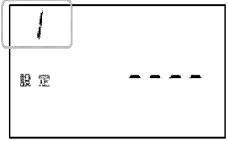

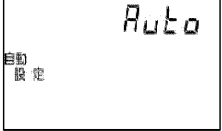









**注意** 什器などを設置した実際の使用環境にておこなってください。  
(4頁設定するまえに参照)

## ●照度による設定

- ・あかるさの目標値を照度の数値入力により設定し、あかるさを一定に制御します。
- ・50lx～3150lxの範囲（50lx刻み）で設定できます。

**注意** この設定をする前に必ず13頁**照度校正**をおこなってください。  
照度校正を実施しないと目的の照度になりません。

**注意** 設定する他のケースに保守率設定がされている場合は設定できません。

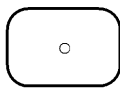
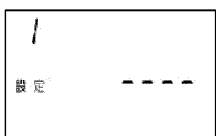

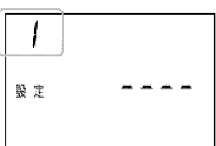

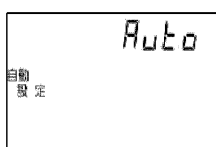

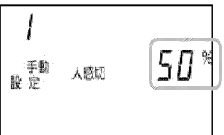




手順1	<b>[設定]を押す。</b>	設定 	
手順2	<b>[&lt;][&gt;]で設定するケース番号を選択する。</b>	< > 	
手順3	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッ”というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合（ _ _ _ が点滅）は、 再度手順3の操作をする。	Enter 	 ※現在の設定値が表示されます
手順4	<b>[1x・%]を数回押して、 照度設定画面を表示させる。</b> 《自動》《設定》《1x》表示を 確認してください。	lx・% 	
手順5	<b>[アップ][ダウン]を押して 設定したい照度値にあわせる。</b> ※50lx刻みで増減します。	ダウン アップ  	
手順6	<b>[人感入・切]で人感センサの有効 または無効を選択する。</b> ※「人感切」表示は人感センサ動作を無効に 設定します。人が不在になっても減光しません。 ※人感入は表示されません	人感 	
手順7	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、設定完了です。	Enter 	

**注意** 設定した照度値と運用中の実際の照度は周囲の環境によりずれが発生する場合があります。

## ●調光度による設定

・照明器具の調光度を常に一定に制御します。あかりセンサによる制御はおこなわれません。

**注意** 0%~100%の範囲で変化しますが、実際のはかりさは20頁**照明器具の設定**によります。  
20頁**照明器具の設定**が正しく設定されていないと、設定が正常におこなわれません。

手順1	[設定]を押す。	設定 	
手順2	[<][>]で設定するケース番号を選択する。	< > 	
手順3	調光センサに向けて、[Enter]を押す。 “ピッ”というブザー音が鳴り、現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合（ _ _ _ が点滅）は、再度手順3の操作をする。	Enter 	 ※現在の設定値が表示されます
手順4	[1x・%]を数回押して、調光度設定画面を表示させる。 《手動》《設定》《%》表示を確認してください。	1x・% 	
手順5	[アップ][ダウン]を押して数値をあわせる。 ※1%刻みで増減します。	ダウン アップ 	
手順6	[人感入・切]で人感センサの有効または無効を選択する。 ※「人感切」表示は人感センサ動作を無効に設定します。人が不在になっても減光しません。 ※人感入は表示されません	人感 	
手順7	調光センサに向けて、[Enter]を押す。 “ピッピッ”というブザー音が鳴って、設定完了です。	Enter 	

## ■調光範囲の設定

- ・調光度による設定を除くあかるさ一定制御のとき、ランプのあかるさの変化範囲を制限することができます。調光度による設定の場合は、この制限はおこなわれません。
- ・調光上限調が調光下限より高くなるように設定してください。  
DF-20206XD7, DF-20206ZD7, DF-20207XD7, DF-20207ZD7では上限と下限の差が14%以下となる設定はできません。14%以下に設定しようとするするとセンサのブザーがピーと長く鳴ります。

### ポイント

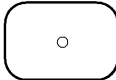
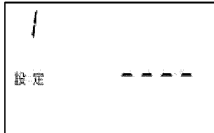
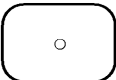
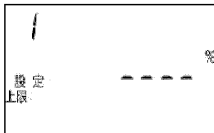

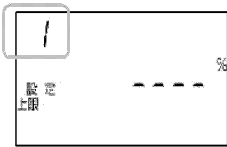





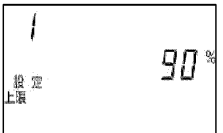
事務所などで外からの局所的な反射光が調光センサに入射する場合、ランプが必要以上に暗くなる場合があります。  
その場合は、調光下限を設定することでランプが暗くなりすぎるレベルを緩和されます。

## ●調光上限の設定

- ・周囲が暗くなってもここで設定した値よりあかるくなりません。

**注意** 0%~100%の範囲で変化しますが、実際のアかるさは20頁**照明器具の設定**によります。  
20頁**照明器具の設定**が正しく設定されていないと、設定が正常におこなわれません。

- ・出荷時の設定は、調光上限値100%に設定されております。

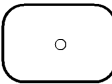
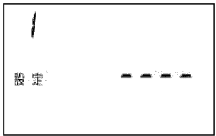
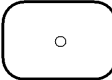
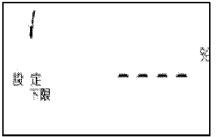

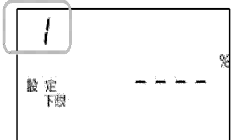






手順1	<b>[設定]を押す。</b>	設定 	
手順2	<b>続けて[設定]を1回押す。</b> 画面に[上限]が表示されます	設定 	
手順3	<b>[&lt;][&gt;]で設定するケース番号を選択する。</b>	< > 	
手順4	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッ”というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合 ( _ _ _ が点滅) は、 再度手順3の操作をする。	Enter 	 ※現在の設定値が表示されます
手順5	<b>[アップ][ダウン]を押して数値をあわせる。</b> ※1%刻みで増減します。	ダウン アップ 	
手順6	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、 設定完了です。	Enter 	

## ●調光下限の設定

・周囲が明るくなくてもここで設定した値より暗くなりません。

**注意** 0%~100%の範囲で変化しますが、実際のはかりさは20頁**照明器具の設定**によります。  
20頁**照明器具の設定**が正しく設定されていないと、設定が正常におこなわれません。

・出荷時の設定は、調光下限値25%に設定されております。

手順1	<b>[設定]</b> を押す。	設定 	
手順2	<b>続けて[設定]を2回押す。</b> 画面に <b>[下限]</b> が表示されます	設定 	
手順3	<b>[&lt;][&gt;]で設定するケース番号を選択する。</b>	< > 	
手順4	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッ”というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合（ _ _ _ が点滅）は、 再度手順3の操作をする。	Enter 	
			※現在の設定値が表示されます
手順5	<b>[アップ][ダウン]を押して数値をあわせる。</b> ※1%刻みで増減します。	ダウン アップ 	
手順6	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、 設定完了です。	Enter 	

### 便利機能

調光下限値を0%に設定しますと、昼光だけで設定照度を充分得られる場合はあかりセンサによる消灯制御ができます。

**注意** あかりセンサによる消灯制御から周囲が暗くなって点灯復帰した後、

約1時間はあかりセンサによる消灯制御しません。

（短時間に昼光が明暗を繰り返しても照明器具を点灯／消灯の繰り返し動作を防止するためのものです）



## ■人感センサの設定

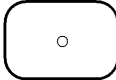
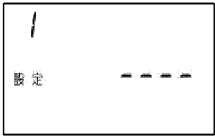

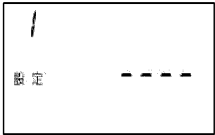


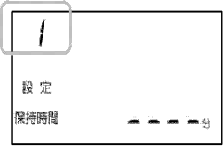







- ・人感センサが最後に人を検知してから一定の時間は自動運転（あかるさ設定の目標値）を保持します。これが保持時間です。

保持時間後は設定された不在時のあかるさとなります。

※DF-20206XD7, DF-20207XD7, TMTS03Aでは人感子機 (DF-20205Y) を接続したとき有効です。

## ●点灯保持時間の設定

- ・人感不在後（人がいなくなって不在時のあかるさに移行する）の保持時間を設定できます。
- ・0分～120分の範囲で変化します。
- ・出荷時の設定は、保持時間6分に設定されております。

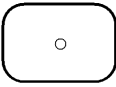
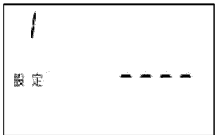
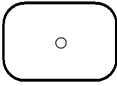
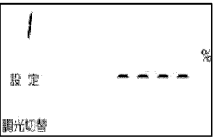

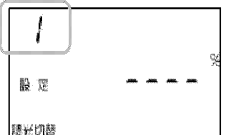



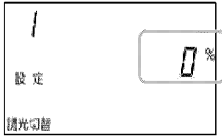

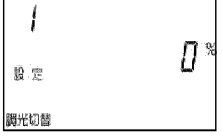
手順1	<b>[設定]を押す。</b>	設定 	
手順2	<b>続けて[設定]を2回押す。</b> 画面に[保持時間]が表示されます	設定  ×2回	
手順3	<b>[&lt;][&gt;]で設定するケース番号を選択する。</b>	< >  	
手順4	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッ”というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合（ _ _ _ _ が点滅）は、 再度手順3の操作をする。	Enter 	 ※現在の設定値が表示されます
手順5	<b>[アップ][ダウン]を押して数値をあわせる。</b> ※1分～30分までは1分%刻み、 30分～120分までは10分刻みで増減します。 「0000」表示は5秒です。	ダウン アップ  	
手順6	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、 設定完了です。	Enter 	

## ●不在時のあかるさの設定

・人感センサ非検知時（不在時）のあかるさが調光度で設定できます。

**注意** 0%~100%の範囲で変化しますが、実際のあかるさは20頁**照明器具の設定**によります。  
20頁**照明器具の設定**が正しく設定されていないと、設定が正常におこなわれません。

・出荷時の設定は、不在時調光度25%に設定されております。

手順1	<b>[設定]</b> を押す。	設定 	
手順2	<b>続けて[設定]を4回押す。</b> 画面に <b>[調光切替]</b> が表示されます	設定  ×4回	
手順3	<b>[&lt;][&gt;]で設定するケース番号を選択する。</b>	< > 	
手順4	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッ”というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合（ _ _ _ が点滅）は、 再度手順3の操作をする。	Enter 	 ※現在の設定値が表示されます
手順5	<b>[アップ][ダウン]を押して数値をあわせる。</b> ※1%刻みで増減します。 ※0%にした場合は、不在時に消灯となります。	ダウン アップ 	
手順6	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> “ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、 設定完了です。	Enter 	





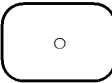






## ■拡張設定

- ・ [Shift] を押しながら [設定] を押すことで拡張設定モードとなり、調光センサの詳細な動作機能を設定できます。

**注意** 拡張設定モードを解除するには [自動] を押してください。


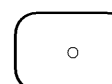

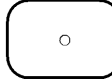
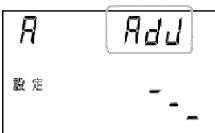



## ●照度校正

**注意** 6頁の保守率による設定をした後は照度校正しないでください。更新され目的のあかるさに誤差が発生します。

手順1	調光センサの下に三脚などで照度計を一定の高さ (例:事務所の場合は机の高さ約75cm)に設置する。		
手順2	[アップ][ダウン]を押して 照度計の数値を任意の照度に合わせる。 (→21頁調光運転参照)	 	 <p>※[アップ]の場合</p>
手順3	[Shift]を押しながら[設定]を押す。 校正のための画面表示になります。	 + 	
手順4	[アップ][ダウン]を押して数値を 照度計の照度値にあわせる。 ※50lx刻みで増減します。	 	
手順5	調光センサに向けて、[Enter]を押す。 "ピッ"というブザー音の5秒後に "ピッピッ"と聞こえたら、校正完了です。		

## ●あかるさ補正

- ・ 照度校正後、設定した照度と実際の照度（照度計）との間にずれが発生する場合、あかるさを微調整することができます。

手順1	[Shift]を押しながら[設定]を押す。 (照度校正画面)	 + 	
手順2	[設定]を2回押す。 《AdJ》が表示されます。	 <p>×2回</p>	
手順3	[アップ]または[ダウン]を 押して調節する。 "ピッ"というブザー音が鳴ります。	 	 <p>※[アップ]の場合</p>

## ●フェード時間の設定

- 外部接点によるケースの切り換わりと、人感センサ動作での不在または人を検知したときはランプのあかるさが徐々に変化するフェード機能が働きます。このフェード機能の変化速度を変更することができます。
- 設定される数値は全光（調光度100%）から消灯（0%）に変化する時間（秒）をあらわします。




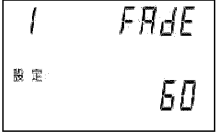


**注意** 目標値が照度、保守率、自動設定の場合、人感検知時の設定より時間がかかる場合があります。

- 出荷時の設定は下表に設定されております。

ケース 1	ケース 2	人感検知時 (ケース 9)	人感不在時 (ケース 0)
60 秒	60 秒	0 秒 (5 秒) ※	60 秒

※ 0秒に設定した時は最大で5秒のフェード時間が発生します。

**注意** TMTS03A, TMTS04A以外はケース 3、ケース 4は設定できません。



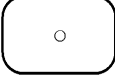
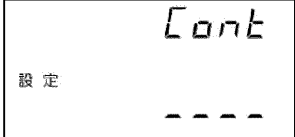



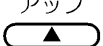
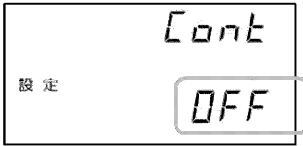

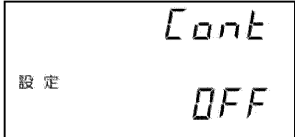

手順 1	[Shift]を押しながら[設定]を押す。 (照度校正画面)	Shift ○ + 設定 ○	
手順 2	[設定]を3回押す。 《FADE》が表示されます。	設定 ○ × 3回	
手順 3	[<][>]で設定するケース番号を選択する。 ※ケース9は不在→在、ケース0は在→不在への 変化する場合をあらわします。	< > ○ ○	
手順 4	調光センサに向けて、[Enter]を押す。 “ピッ”というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合（ _ _ _ _ が点滅）は、 再度手順 3 の操作をする。	Enter ○	
手順 5	[アップ][ダウン]を押して 数値をあわせる。 0 ⇄ 10 ⇄ 20 ⇄ 30 ⇄ 60 ⇄ 90 ⇄ 120 ⇄ 180 から 選択します。	ダウン アップ ○ ▼ ○ ▲	
手順 6	調光センサに向けて、[Enter]を押す。 “ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、 設定完了です。	Enter ○	
手順 7	[自動]を押す。 拡張設定モードから通常に戻ります。	自動 ○	

※現在の設定値が表示されます

## ●調光器連動の設定

- ・調光センサに接続される外部調光器（DF-70162-PD）との連動動作を無効にすることができます。

**注意** DF-20207XD7, DF-20207ZD7以外の調光センサは受信しますが動作に影響はありません。

手順 1	<p><b>[Shift]</b>を押しながら<b>[設定]</b>を押す。 （あかりセンサ校正画面）</p>	 + 	
手順 2	<p><b>[設定]</b>を4回押す。 （手動保持時間設定画面）</p>	 × 4回	
手順 3	<p>調光センサに向けて、<b>[Enter]</b>を押す。 “ピッ”というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合（ _ _ _ _ が点滅）は、 再度手順3の操作をする。</p>		 <p>※現在の設定値が表示されます</p>
手順 4	<p><b>[アップ]</b><b>[ダウン]</b>を押して 数値をあわせる。 ※on表示は有効、OFF表示は無効をあらわします。</p>	 	
手順 5	<p>調光センサに向けて、<b>[Enter]</b>を押す。 “ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、 設定完了です。</p>		
手順 6	<p><b>[自動]</b>を押す。 拡張設定モードから通常に戻ります。</p>		

## ●センサアドレスの設定

・TMTS03A, TMTS04Aではアドレスを設定する必要があります。アドレスと回路番号を設定してください。

**注意** 調光センサごとにアドレスと回路番号の組合せが異なるよう設定してください。

手順1	<p>[Shift]を押しながら[設定]を押す。 (あかりセンサ校正画面)</p>	<p>Shift</p> 	<p>設定</p> 	
手順2	<p>[設定]を5回押す。 (アドレス設定画面)</p>		<p>設定</p>  <p>×5回</p>	
手順3	<p>調光センサに向けて、[Enter]を押す。 "ピッ"というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合 ( _ _ _ が点滅) は、 再度手順3の操作をする。</p>		<p>Enter</p> 	 <p>※現在の設定値が表示されます</p>
手順4	<p>[アップ][ダウン]を押して 数値をあわせる。 ※0～127で、設定してください。</p>	<p>ダウン</p> 	<p>アップ</p> 	
手順5	<p>調光センサに向けて、[Enter]を押す。 "ピッピッ"というブザー音が聞こえたら、 アドレス設定完了です。続けて回路番号を設定し てください。</p>		<p>Enter</p> 	
手順6	<p>続けて[設定]を押す。 (回路番号設定画面) ※ 手順1に続けて6回押してもこの画面になります。</p>		<p>設定</p> 	
手順7	<p>調光センサに向けて、[Enter]を押す。 "ピッ"というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合 ( _ _ _ が点滅) は、 再度手順3の操作をする。</p>		<p>Enter</p> 	
手順8	<p>[アップ][ダウン]を押して 数値をあわせる。 ※1または2を設定。</p>	<p>ダウン</p> 	<p>アップ</p> 	
手順9	<p>調光センサに向けて、[Enter]を押す。 "ピッピッ"というブザー音が聞こえたら、 設定完了です。</p>		<p>Enter</p> 	

## ●調光信号種類の設定

- ・接続される照明器具（インバータ）の仕様にあわせて調光信号の種類を選択します。
- ・照明器具の設定（→20頁）も合わせて行ってください。出荷時の設定は、IECです。

**注意** 調光信号種類が異なると、正しく調光制御できません。

手順1	[Shift]を押しながら[設定]を押す。 (フェード時間設定画面)	Shift ○ + 設定 ○	設定 1 設定 -----
手順2	[設定]を7回押す。 (手動保持時間設定画面)	設定 ○ ×7回	設定 tPPE 設定 -----
手順3	調光センサに向けて、[Enter]を押す。 “ピッ”というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合（ _ _ _ が点滅）は、 再度手順3の操作をする。	Enter ○	設定 tPPE 設定 IEC ※現在の設定値が表示されます
手順4	[アップ][ダウン]を押して種類を 選択する。 tLt⇔IEC⇔A⇔bから選択します。	ダウン ▼ アップ ▲	設定 tPPE 設定 tLt 設定 tPPE 設定 A 設定 tPPE 設定 b
手順5	調光センサに向けて、[Enter]を押す。 “ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、 設定完了です。	Enter ○	設定 tPPE 設定 tLt

**【表】 照明器具による設定の例**

始動方式	ランプ	調光信号	調光下限 (%)	照明器具の例
PD9	FHF32/16	IEC	25	FHR-42800-PD9
	FHF86	IEC	35	FHT-91005-PD9
	FHP105	IEC	60	FHT-91311M-PD9
	FHP32	IEC	35	FHT-33300N-PD9
	FHT42/32/24	IEC	30 ※1	FHD-41011-PD9
PE, DB○	HF32	IEC	5	FHR-42800N-DBH
LD	LED	IEC	2	LEDD-66007W-LD1
DA○	HF32	IEC	1	FHT-41007-DAM
PD1/PD2 ※2)	HF32, FHG70	TLT	25	FHR-71000-PD
	110W	TLT	60	

※1 設定用の値であり照明器具の下限調光値とは異なる場合があります。



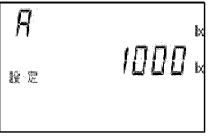
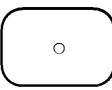




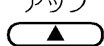




※2 主に生産完了済み照明器具への設定となります。

## ●手動保持時間の設定

- ・自動運転時に手動操作されてからの手動運転（調光手動運転、シーン、外部調光器連動運転など）の状態を継続する時間を変更することができます。
- ・設定された時間経過後は自動的に自動運転に切り替わります。




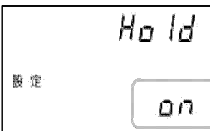
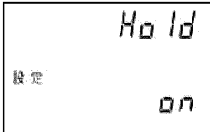
**注意** 手動操作による消灯運転時はこの設定は適用されません。

- ・出荷時の設定はno（時間経過で自動運転にもどらない）に設定されています。

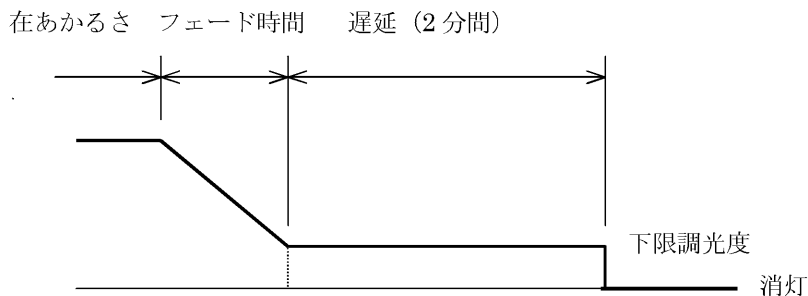
手順1	<p><b>[Shift]</b>を押しながら<b>[設定]</b>を押す。 （あかりセンサ校正画面）</p>	<p>Shift</p>  <p>+</p> <p>設定</p> 	
手順2	<p><b>[設定]</b>を8回押す。 （手動保持時間設定画面）</p>	<p>設定</p>  <p>×8回</p>	
手順3	<p><b>調光センサ</b>に向けて、<b>[Enter]</b>を押す。 “ピッ”というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合（_ _ _が点滅）は、 再度手順3の操作をする。</p>	<p>Enter</p> 	 <p>※現在の設定値が表示されます</p>
手順4	<p><b>[アップ]</b><b>[ダウン]</b>を押して <b>数値をあわせる。</b></p> <p>no⇔30⇔60⇔90⇔120⇔180から選択します。 ※no表示は保持時間抑制動作を無効にします。 自動的に自動運転に切り替わりません。</p>	<p>ダウン</p>  <p>アップ</p> 	
手順5	<p><b>調光センサ</b>に向けて、<b>[Enter]</b>を押す。 “ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、 設定完了です。</p>	<p>Enter</p> 	
手順6	<p><b>[自動]</b>を押す。 拡張設定モードから通常に戻ります。</p>	<p>自動</p> 	

## ●人感センサ消灯遅延の設定

- ・人感センサ制御の不在時調光度0%（消灯）設定時に、照明器具の下限調光度にて約2分間遅延動作させることができます。

手順1	<b>[Shift]を押しながら[設定]を押す。</b> (あかりセンサ校正画面)	Shift ○ + 設定 ○	
手順2	<b>[設定]を9回押す。</b> (人感センサ消灯遅延設定画面)	設定 ○ ×9回	
手順3	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> "ピッ"というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合 ( _ _ _ _ が点滅) は、 再度手順3の操作をする。	Enter ○	 ※現在の設定値が表示されます
手順4	<b>[アップ][ダウン]を押して動作を 選択する</b> ※on表示は有効、OFF表示は無効をあらわします。	ダウン ▼ アップ ▲	
手順5	<b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b> "ピッピッ"というブザー音が聞こえたら、 設定完了です。	Enter ○	
手順6	<b>[自動]を押す。</b> 拡張設定モードから通常に戻ります。	自動 ○	

### 注意



## ■照明器具の設定

- ・調光センサに接続される照明器具の調光範囲の下限值を設定します。(17頁の表参照)

**注意** 照明器具の設定が正しく設定されていないと、各種設定が正常におこなわれません。

例：25%～100%調光タイプの照明器具をご使用の場合は、「25」と設定します。

出荷時の設定は、25%～100%調光タイプの照明器具に設定されております。

手順 1	[Shift]を押しながら[設定]を押す。 (あかりセンサ校正画面)	Shift ○ + 設定 ○	
手順 1	続けて[設定]を10回押す。 画面左にEと表示されます (照明器具設定画面)	設定 ○ x 10回	
手順 2	調光センサに向けて、[Enter]を押す。 “ピッ”というブザー音が鳴り、 現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合( _ _ _ )が点滅)は、 再度手順2の操作をする。	Enter ○	 ※現在の設定値が表示されます
手順 3	[アップ][ダウン]を押して数値を あわせる 25⇔40⇔50⇔60⇔2⇔5⇔25と変化します。 ※ [Shift] を押しながら [アップ] [ダウン] を 押しますと細かい調整 (1%刻み) ができます。 ここで再度 [Shift] を押すと6段階変化に戻ります。	ダウン ▼ アップ ▲	
手順 4	調光センサに向けて、[Enter]を押す。 “ピッピッ”というブザー音が聞こえたら、 設定完了です。	Enter ○	

## ■初期値にもどす方法

- ・設定を出荷時設定に戻します

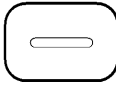
**注意** TMTS03A, TMTS04Aのアドレス、回路番号は初期化されません。

手順 1	[Shift]を押しながら[設定]を押す。 (あかりセンサ校正画面)	Shift ○ + 設定 ○	
手順 2	続けて[設定]を11回押す。 画面左右下にCLrと表示されます (クリア操作)	設定 ○ x 11回	
手順 3	調光センサに向けて、[Enter]を押す。 液晶が全点灯します	Enter ○	

## ■ 消灯


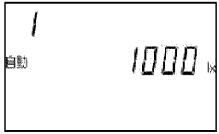
- ・調光センサに接続される照明器具を強制的に消灯することができます。

**注意** 消灯操作後、調光センサの電源を切断し、再投入した場合は消灯動作となります。

手順	<p><b>調光センサに向けて、[ON/OFF]を押す。</b></p> <p>※ [ON/OFF] を押すたびに消灯／点灯します。 “ピッ”というブザー音が鳴り、消灯／点灯します。</p>	<p>ON/OFF</p> 
----	---	--




## ■ 自動運転

- ・調光センサに設定された内容にしたがい自動運転します。  
手動運転から自動運転にもどす場合に、使用します。

手順	<p><b>調光センサに向けて、[自動]を押す。</b></p> <p>※ 外部接点状態に対応したケースの設定内容で動作します。 “ピッ”というブザー音が鳴り、自動運転内容が表示されます。 内容が表示されない場合 ( _ _ _ が点滅) は、再度 [自動] を押します。</p>	<p>自動</p> 	
----	--	---	---




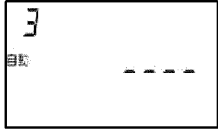

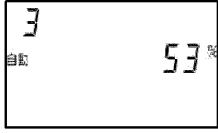
## ■ 現在の調光度確認

- ・調光センサの現在の点灯状態（調光度）を確認できます。

手順	<p><b>調光センサに向けて、[Shift]を押しながら、[自動]を押す。</b></p> <p>“ピッ”というブザー音が鳴り、現在の調光度が表示されます。 数値が表示されない場合 ( _ _ _ が点滅) は、再度 [Shift] を押しながら、[自動] を押します。</p>	<p>Shift</p>  <p>+</p> <p>自動</p> 	
----	--	---	---





## ■ ケース運転

- ・ケースを選択することでシーン再現のように使用することができます。
- ・ケース運転では、照度または保守率による再現が可能です。

手順 1	<p><b>調光センサに向けて[自動]を押す。</b></p> <p>※外部接点状態に対応したケースの設定内容で動作します。 “ピッ”というブザー音が鳴り、登録内容が表示されます。 内容が表示されない場合 ( _ _ _ が点滅) は、再度 [自動] を押します。</p>	<p>自動</p> 	
手順 2	<p><b>[&lt;][&gt;]で再現するケース番号を選択する。</b></p>	<p>&lt; &gt;</p> 	
手順 3	<p><b>調光センサに向けて、[Enter]を押す。</b></p> <p>“ピッ”というブザー音が鳴り、選択ケースが再現され、運転内容が表示されます。 数値が表示されない場合 ( _ _ _ が点滅) は、再度手順 3 の操作をする。</p>	<p>Enter</p> 	


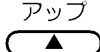


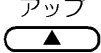


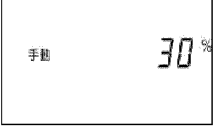
## ■調光運転

- ・確認しながら明るさを調整して点灯します。
- ・この運転中は、センサの動作表示LEDが点滅します。

手順	調光センサに向けて、 [アップ]または[ダウン]を押す。  “ピッ”というブザー音が鳴り、 ランプのあかるさが増減します。  ※この運転は、手動運転です。センサ電源が OFF→ON後は自動運転状態に戻ります。	アップ   ダウン 	  
----	---	--	--


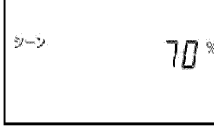
## ●数値指定調光

- ・指定した調光度で点灯します。
- ・この運転中は、センサの動作表示LEDが点滅します。

手順1	調光センサに向けて、 [アップ]または[ダウン]を押す。  “ピッ”というブザー音が鳴り、 ランプのあかるさが増減します。	ダウン  アップ 	
手順2	調光センサに向けて、[Enter]を押す。  “ピッ”というブザー音が鳴り、 現在のあかるさ（調光度）が表示されます。  数値が表示されない場合（ _ _ _ が点滅）は、 再度手順2の操作をする。	Enter 	
手順3	[アップ][ダウン]を押して数値を あわせる ※1%刻みで増減します。	ダウン  アップ 	
手順4	調光センサに向けて、[Enter]を押す。  “ピッ”というブザー音がなり、 選択したあかるさで点灯します。  ※この運転は、手動運転です。センサ電源が OFF→ON後は自動運転状態に戻ります。	Enter 	

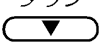
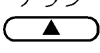


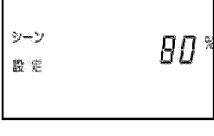
- ・調光センサにあからじめ登録されているあかるさ（調光度）を再現します。
- ・出荷時の設定は、調光度70%に設定されております。
- ・この運転中は、センサの動作表示LEDが点滅します。

## ■シーン

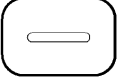
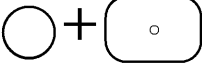
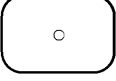
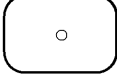

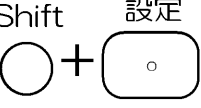



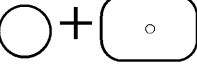














手順	調光センサに向けて、[シーン]を押す。  “ピッ”というブザー音が鳴り、 シーン再現内容が表示されます。  数値が表示されない場合（ _ _ _ が点滅）は、 再度 [シーン] を押します。  ※この運転は、手動運転です。センサ電源がOFF→ON後は自動運転状態に戻ります。	シーン 	
----	---	--	---

## ●シーン登録

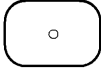
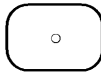
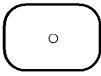
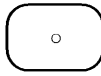
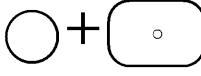
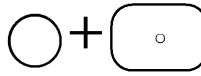
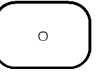
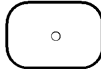


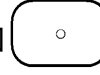
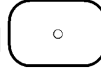


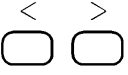




















- ・シーンとして再現したいあかるさを更新します。

手順1	[アップ][ダウン]操作などで 登録したいあかるさにする。 (→20頁 照明器具の設定 手順3参照)	ダウン  アップ 	
手順2	調光センサに向けて、 [Shift]を押しながら[シーン]を押す。  “ピッ”というブザー音が鳴り、 シーン登録内容が表示されます。  数値が表示されない場合（ _ _ _ が点滅）は、 再度 [Shift] を押しながら [シーン] を押します。	Shift  + シーン 	

## ■設定早見表

接続動作確認	照明器具の設定	あかるさ設定		あかりセンサの校正	
ON/OFF		保守率設定 照度設定 調光度設定	自動設定	照度校正	あかるさ補正
ON/OFF 	Shift + 設定 	設定 	設定 	ダウン アップ  照度計を任意の照度に合わせる	Shift + 設定 
	×10回  拡張設定①	< >  設定するケースを選択	Enter  現在の設定内容を確認	Shift + 設定  拡張設定①	×2回  拡張設定②
	Enter  現在の設定内容を確認	Enter  現在の設定内容を確認	lx・%  [Auto]表示を選択	ダウン アップ  照度計の数値に合わせる	ダウン アップ  押すごとに補正
	ダウン アップ  設定する値に合わせる	lx・%  設定する内容を選択	Enter  設定完了	Enter  校正完了	
	Enter  設定完了	ダウン アップ  設定する値に合わせる			
		人感  人感センサの有効無効を選択			
		Enter  設定完了			

## ■ 設定早見表

調光範囲の設定		人感センサの設定		拡張設定(抜粋)	
調光上限の設定	調光下限の設定	点灯保持時間の設定	不在時のあかかさ設定	フェード時間の設定	調光器連動の設定
設定 	設定 	設定 	設定 	Shift 設定  [Shift]を押し ながら押す	Shift 設定  [Shift]を押し ながら押す
設定 ×1回 	設定 ×2回 	設定 ×3回 	設定 ×4回 	設定 ×3回 	設定 ×4回 
 設定するケース を選択	 設定するケース を選択	 設定するケース を選択	 設定するケース を選択	 設定するケース を選択	Enter  現在の設定内 容を確認
Enter  現在の設定内 容を確認	Enter  現在の設定内 容を確認	Enter  現在の設定内 容を確認	Enter  現在の設定内 容を確認	Enter  現在の設定内 容を確認	ダウン アップ  設定する値に 合わせる
ダウン アップ  設定する値に 合わせる	ダウン アップ  設定する値に 合わせる	ダウン アップ  設定する値に 合わせる	ダウン アップ  設定する値に 合わせる	ダウン アップ  設定する値に 合わせる	Enter  設定完了
Enter  設定完了	Enter  設定完了	Enter  設定完了	Enter  設定完了	Enter  設定完了	

■ 保証について ・ 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

 **0120-66-1048**

受付時間：365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-861-6485 (通話料：有料)  
FAX 0570-000-661 (通信料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。  
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

**日本国内専用**  
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社 応用商品推進部 〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル)

TEL (03) 5479-3403  
FAX (03) 5479-3393